

令和7年度 とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

施設名	ニチイキッズさわやか勝どき6丁目保育園
	中央区勝どき6-3-1
施設所在地	THE TOKYOTOWERS SEATOWER3階
事業者名	株式会社ニチイ学館

1. 活動のテーマ

<テーマ>

鏡と光と色

- ・新聞紙ドームを作り、光の照り方を知る
- ・全員で協力して作り上げる達成感を感じる

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

元々廃材や製作遊びをして過ごすことが好きな子どもたちであった為、新聞紙やビニール袋等身近な物を使って全員で大きな物を作りたいとの思いがきっかけだった。個人での取り組みが付きを重ねるごとに全体での取り組みになることも多かったため全員で協力して一つの物を作り上げることの楽しさを感じられるようなテーマで行う。

2. 活動スケジュール

8月 年長お楽しみ会の宝探しゲームで新聞紙ドームに触れあう

新聞紙遊びをしながら想像力を膨らませる

9月 親子レクリエーションでみんな協力し、新聞紙ドームを作り上げる

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

新聞紙・ビニールテープ・布テープ・ビニール袋・ミニランタン・サーキュレーター

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

ドームの作り方について説明を聞き、新聞紙・ビニールテープ・布テープを使いドームを作る。サーキュレーターを使い空間を広げ、中に入り光で照らした。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

新聞紙ドームを作るとお実には狙いや作り方について一緒に確認をした。サイコロのカタチを平面上にしてつなげるとドームのカタチになることを不思議に思ったり疑問に思いながらも作り進めていくと段々とできていく姿に驚きながら意欲的に取り組む姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

新聞紙ドームは一人で作ったり、個人で黙々と作り進めると終わらないが、全員で作ることで自然と子どもたち同士で話し合い、協調性が生まれてきていた。また、サーキュレーターで空気を入れようとしたがなかなかうまく膨らまず子どもたちの柔軟な考えで穴を閉じることができていたため、子どもたちの想像力を存分に使い成長を感じることができ良かった。